

3-2 公共施設等の見直し及び適切な維持管理の推進

必要なものは「新しくつくる」という従来の考えから、既存ストックを「賢く使う」へと価値観の転換を図り、財政負担の軽減と安全性や利便性の維持の両立を図るもの

価値観の転換

新しくつくる



賢く使う

公共施設の効率的な活用

施設の複合化・集約化

スポーツ・文化・交流複合施設建設事業

【予算額】20,404千円

体育文化センター及び総合体育館跡地に、スポーツ・文化・交流を促進するための機能を備えた複合施設を整備



体育文化センター

総合体育館

図書館等複合施設建設事業

【予算額】127,515千円

三条小学校跡地の活用として、図書館、鍛冶ミュージアム、理科教育センターの機能を有した複合施設の整備に向けた検討、校舎の解体等



三条小学校

施設機能の見直し

大崎中学校跡地活用

大崎中学校移転に伴う跡地活用を地元の要望等を勘案しながら検討



大崎中学校

施設規模の見直し

公共下水道整備の見直し（汚水）

【予算額】19,621千円

人口減少等を見据えた効率的な汚水処理施設整備構想の実現に向けた具体の整備手法を検討

長寿命化の推進

長寿命化対策事業

【予算額】640,258千円

これまでの事後保全的な維持管理から、計画的な予防保全（点検、補修、補強等）による長寿命化を推進することで、ライフサイクルコストを平準化及び縮減

- 道路長寿命化
- 橋梁長寿命化
- 公園長寿命化
- 農業集落排水施設長寿命化
- 下水道施設長寿命化 ほか

予防保全のための仕組み



- 安全性の確保
- 予算の最適化
- 施設機能の健全化

